



令和8年9月30日
10月号 No.494
発行責任者
校長 西村 学徳
所在地 福生市熊川 623

豊かな学びにつながる本物体験の深まり ～自分で考え、仲間と動く～

校長 西村 学徳

朝夕の風に秋の訪れを感じる頃となりました。

2学期のスタートにあたり、始業式で私は子供たちに「一つ一つの学習や行事に、自分なりの『思いや願い』をもって取り組んでほしい。その姿勢が、自分の大きな成長につながる。」という話をしました。この9月を振り返ると、本校が教育活動の重点として、内容の充実と新たな創造を目指している「本物体験・感動体験」を通して、子供たちはまさに自分なりの目標をもち、一步一步大きく成長する姿を見せてくれました。



6年 勾玉づくり

まず、6年生は今年度新たな取組として、社会科の学習で東京都埋蔵文化財センターの方をゲストティーチャーにお招きし、「勾玉（まがたま）づくり」を行いました。専門的なお話を聞き、古代の歴史に思いを馳せながら集中して石を削り磨き上げる姿は、最高学年らしい姿でした。世界に一つだけの勾玉を手にしたときの嬉しそうな笑顔がとても印象的でした。

5年生は1泊2日で名栗自然教室に出掛けてきました。福生を離れ、大自然の名栗の地で、ドラム缶ピザづくりやカレーづくり、キャンプファイヤー、ナイトハイク、そして名栗湖でのカヌー体験と、自然の魅力を全身で味わう充実した2日間を過ごしました。今回の名栗自然教室で特に際立っていたのが、子供たちの「自主性」の育ちです。教員からの指示を待つのではなく、次に何をすべきか自分たちで「しおり」を読み込み、互いに声を掛け合いながら協力して行動する姿が随所に見られました。自分で判断し、仲間と力を合わせて成し遂げた体験は、大きな自信となったはずです。帰校時の表情には「やり切った!」という達成感が溢れていました。

また、低学年の校外学習では、自然環境アカデミーの野村先生に今年度もご指導いただきました。1年生は捕まえた虫をじっくり観察し、「どうすれば元気に過ごせるか」を友達と話し合いながら「命に優しい虫かご」づくりに取り組みました。2年生は小川に入って夢中で水生生物を探すなど、身近な命と直に触れ合う貴重な時間となりました。



5年 カヌー体験

本物の教材、本物の自然、そしてその道を極めた専門家の方々との出会いは、子供たちの心に強い感動を残します。画面越しでは味わえないリアルな手触りや発見は、子供たちの探究心や思いやりの心を引き出し、「自分で考え、仲間と動く」主体的な学びへとつながっていきます。

本校では今後も、感動を伴う本物体験を教育活動の軸とし、子供たちの「生きる力」をしっかりと育ててまいります。

10月は運動会があります。自分で考え、仲間とともに一歩前へと踏み出し、躍動する子供たちの素敵な姿に、ぜひご期待ください。